

令和2年4月21日

## 九州裏研の考え

両裏研様のご意見ご提案を踏まえて、九州裏研から回答させていただきます。

まず、宗家研修についてですが、九州裏研では資料が作成されておらず、過去の研修内容を把握することが困難な状況です。口頭で共有されたものになるのですが、下記の日程で行われた年度もあるようです。

- 1日目:学生主催のイベント、懇親会
- 2日目:宗家訪問、茶道会館にて講演、周辺観光、学生のみ親睦会
- 3日目:大西釜訪問、昼頃解散

次に、関東裏研様よりご提案いただきました新規則案についてですが、研修旅行委員に関する規則も含めて異存ございません。ご配慮いただきまして、ありがとうございます。

補助金制度に関する質問状につきましては、内容自体には賛同いたします。しかし、関西裏研元評議員長増田様のご意見にもありましたように、補助金制度は本来学生が負担すべき費用を特別に補助していただいている、というご配慮から存在しているものだとし解しております。したがって、そのような趣旨を理解している学生からの質問若しくは提案、と総本部が受け取っていただけるような表現をされたほうがよろしいかと存じます。特に、「3.1 補助金支給要件・対象について」の「必要」という表現や、項目を設けて補助金支給目的をこちらから総本部へ問う形は避けたほうが良いのではないかと感じております。

最後に、「総本部が提示した補助金を出していただける下限人数に $+\alpha$ を設定して一般会員に提示する」という提案をいたしました趣旨について、念のためご確認させていただきます。こちらは、正当な理由があるキャンセルを受けたとしても参加人数を補助金支給条件に下回らないようにするためです。その結果、他の参加者への影響を避けることが可能になるかと思われます。よって、こちらの提案は学生に対するものではなく総本部の方々が補助金制度論考に納得していただけることが目的である、という点についてはご留意願います。